

同窓会だより

卒業生総数:

26,476人

旧 中	2,571人
高 女	2,592人
高 校	21,313人

編集発行／岐阜県立本巣高等学校同窓会事務局
(〒501-0407 岐阜県本巣郡糸貫町仏生寺・TEL <058>324-1201)



装いも新たに（本館塗装工事このほど完了）

新世紀は平和の到来を期待しておりましたが、二〇〇一年九月十一日、米国のニューヨークでの世界貿易センタービル爆破を始めとするテロは止まず、世界中が恐怖のどん底に落とし入れられました。世界の各国が国際連合に協力して、一日でも早い平和の回復を会員の皆様とともに希求するものであります。経済の面で本当に厳しい時を迎えております。

このような状況のもと、国や県は教育の改革に着手されております。二〇〇一年十二月末、高等学校一〇校の減少の具体案が公表され、我が本巣高校は岐陽高校と統合し単位制普通科高校として再出発することに決定されました。所在地は現在の本巣高校の敷地において二〇〇四年四月一日からとなりました。これに先だち同窓会としては家庭科が無くなると知り、特に女性役員からの強い要望もあり、正副会長全員で、家庭科を残して欲しい旨校長先生にお願いにまいりました。また一方では新しく発足する学校名の呼称について、昨年の本部の総会あるいは関東、

二十一世紀に入つて三年目の陽春を迎える頃となりました。会員並びに関係者の皆様方には益々御健勝のこととお喜び申し上げます。



同窓会会長 若原忠義

名古屋、その他の支部の総会でも総称を用いるようにというのがほとんどの会員の皆様の要望がありました。本年一月十五日に学校から会合の通知を受けました。その内容は県の指示で統合後の学校名について、一般地域の人からの意見を聞き、それを参考にしたいので、結果を二月二十九日に県に回答するようにとのことで、学校としてはその方法について、PTA及び同窓会役員会の方へ連絡をとり、会合が持たれました。結論としては夫々手分けして往復葉書によるアンケートを集めることに決定し、即実行に移し、回答を得ました。結果を文書にし、二月十九日に同窓会として、副会長とともに県の学政課へ陳情に行って来ました。皆様ともども要望が受け入れられることを願いつつ県の裁定を待つことにしました。

終わりにあたり、関東、関西、名古屋等の皆様のため、学校の所在地の糸貫町等の合併についてお知らせしておきます。糸貫町、真正町、本巣町、根尾村が合併し本巣市に、穂積町と巣南町が瑞穂市になり北方町は岐阜市との合併協議会に入つた現況であります。以上同窓会及び学校の近況を申し述べ挨拶といたします。

松樹輝く母校に感謝

中島洋晃



昭和三十三年春、赤門を

昭和三十三年春、赤門をくぐると、ヒマラヤ杉の大木が私を抱きかかえるように迎え入れてくれた。

入学間もない五月、アジア大会が東京で開催され、槍投げやボクシングに本校の選手が出場し、準優勝や金メダルを獲得したことを知らされた。「すごい学校に入学したんだ」という自負心も芽生え、先輩の姿を目で追うようになつた。

翌年九月の伊勢湾台風ではヒマラヤ杉が倒れてしまった。

吾が学級は「鈍才クラブ」と異名挙行された。がつき、恩師の薰陶の厳しさの甲斐あり、畏敬の思いの中に卒業の日を迎えることができた。

校門を入つてすぐ右にある「母校は若き日の心の故郷である」と刻まれた石碑の前に立ち、懐旧の情を深くし、涙を禁じ得ない今日このごろである。

すことができた。

在学中、非常勤講師、教諭、
教頭と、合わせて十九年間もの長
きにわたり本校にかかわってこら
れ、この度定年退職されました中
島先生から本校の深い思い出を寄
稿していただきました。

そして、三度目の重責を担つて赴任となつたこの四年間には、「創立八十周年行事の挙行」。岐阜県教育改革元年（二千年）に端を発した「学校統合」への槌音。母校は新たな鼓動を始めた。

十九年間、お世話になり、また、こよなく愛した母校。定年という冠のもとに赤門を去るに至つた。激励とご支援に感謝し、頓首。

感謝 中島洋晃
(昨年度まで教頭、昭和36年卒)

総会後の懇親会では、豊田満穂氏(昭17卒)によるハーモニカの演奏で校歌を合唱。

一、平成十四年度事業・予算案
議事終了後、同会場にて喜寿祝が行われました。今年度は、中学昭和十八年卒・高女昭和十七年卒が対象となり、八名の方々に会長から記念品が授与されました。

総会終了後、本部としては初めて講演会を行いました。講師に昭和五年卒の加納宏幸氏（岐阜県歴史姿

平成十四年度本巣高等学校同窓会本部総会が、岐阜観光ホテル十八楼において八日午後二時から行われました。今年度は昭和四七年三月卒業の同窓生を中心に、百三十九名の参加を得て盛大に行されました。総会は、若原忠義同窓会会长・新井勝校長の挨拶に続いて、白木健氏（昭十八年卒）を議長に選出し、左記の議案を審議し、原案通り承認されました。

一、平成十三年度事業・決算報告
事務局長 戸田文隆



加納宏幸氏(昭25卒)による記念講演

ります。昨今総会参加人数も頭打ちの状態になつてきています。各学年理事の方々も積極的に総会への参加をお願いします。

支部だより

關東支部

支部長 真道晃雲

平成十四年度支部総会を、四月十四日に、東京「アルカディア市ヶ谷」において開催。本部からは若原会長、新井校長、松尾先生の三名をお迎えし、会員九十七名の参加を得て、盛大に行ないました。

最後に校歌を全員で合唱し、来年の再会を誓つて解散ましたが、年毎に顔馴染の輪が広がっていることが、至上の喜びです。

回想の中学校五年間

昭和19年卒
高橋 淳

の四氏が再選されました。また鷺見周氏（昭30）が「ボランティア現場から見た日本の自然環境」という題

で特別講演。数多くの写真を示しながら、自然環境保護がいかに緊急の課題であるかを熱っぽく語られ、一同深く感銘を受けました。

懇談会は、鷺見繁春氏（昭18）の乾杯で開始、初参加者の紹介、還暦組（昭51）特別出演などで盛り上

朝木で開始された参加者の紹介、選ばれ組（昭35）の特別出演などで盛り上がり、恒例となつた「おたのしみゲー

ム・花の名所ヒンニ」では最高潮に達しました。桜・つつじ・バラなど

ピックアップしたもので、こんな身近な所に花の名所があつたのかと認識を新たにする一幕もありました。当選者には、勿論花をプレゼントし



97名の参加を得た総会の情景

た。語、国語、漢文、数字等充実している。
中学時代から六十年を経、当時を
思うと感慨深さも一入です。

名古屋支部

支部長 栗本和幸

(日) 平成十四年度支部総会は六月九日JRセントラルタワーズ内マリオットアソシアホテルにおいて開催、本

平成十四年度は諸般の事情で開催することができませんでした。

四十五年の歴史ある会

揖斐郡教職員同窓会

揖斐郡教職員本巣高等学校同窓会は、揖斐郡に在職または在住している教職員により、昭和三十三年に設立され、本年度で四十五年の歴史ある同窓会です。現在会員数は百三十一名で、小・中学校の先生がその多くを占めています。

この会は、校長を始め一般教職員も含めて、本巣高校同窓生という共通の意志のもと、お互いの学校間の交流と情報交換を行う場になつています。

平成十四年度の同窓会は、二月二日二木野町の「有楽苑」（日暮二丁目）

日に大野畠の「有樂苑」(旧魚子作)において二十三名の参加を得て行わ
れミニ。余の参考書は、一九三〇年

れました。会の参加者数もここ数年低迷ぎみで、できるだけ多くの参加者を増やしていくことを目指して

者を得るために今年度の参加者は来年度も必ず参加し、さらに新しい人を一名連れて来ることを約束し、約二時間和やかな雰囲気の内に終了しました。

ラグビー部 東海大会予選では優勝



県ボーラー予選、大垣工高との決勝戦で大西君(2年)をキープする

箏曲部全国大会に

第二十六回全国高等学校総合文化祭が八月九日・十日に神奈川県で行なわれ、本校の箏曲部が県代表として出場しました。

本番での堂々とした演奏

全国から五十五校が出場し、秦野市文化会館という国内有数のすばらしい音響効果を持つホールを会場に行なわれました。長年の夢が叶い、晴れの舞台に立った本校の二・三年生の部員二十五名は、前日のリハーサルのとき、初めて耳にした他県の高校の熱烈な演奏

と技術の高さ、会場の雰囲気に圧倒され緊張したものの、九日の本番はこれまで頑張ってきた練習の成果を十分に發揮して、堂々とした演奏をすることができました。

入賞はできなかつたけれども、上位入賞校の「だれもが心から感動する演奏」に魅了され、今後の練習に生かし、「上手な演奏とうより、人の心を振り動かすうまい演奏」を目指すよう、決意を新たにしました。



栄光の記録を石碑に

春の高校バレーに十回、インターハイに二十回出場を果たした女子バレー部の栄光を記念し、後援会・OG・父母会が費用を出し合

い、このほど「栄光の記録」と刻まれた石碑が教室に設置されました。

箏曲部

全国高校総合文化祭(神奈川県)

吹奏楽部

中部日本吹奏楽コンクール本大会

美術部

全国高校生ポスターコンクール

優秀学校賞

最優秀賞1名 優秀賞1名 優秀賞3名

放送部

NHK杯全国高校放送コンテスト出場(濱いづみ)

教科の活動

◆運動系◆

牛乳乳製品利用料理コンクール全国大会

優良賞

全国産業教育フェア岩手大会ファンシーションデザインコンテスト

入賞4名

全国高校代表北京遠征(同)

東海高校総体

準優勝

東海高校総体(茨城県)ベスト16

入選

東海高校総体(茨城県)出場

優勝

東海高校総体県予選

準優勝

東海高校総体(茨城県)出場

優勝

主な部活動の成果

◆運動系◆

女子バレーボール部

全国高校総体(茨城県)出場

日本高校代表北京遠征(同)

東海高校総体

準優勝

ソフトボール部

全国高校総体(茨城県)ベスト16

入選

東海高校総体(茨城県)出場

優勝

東海高校総体(茨城県)出場

準優勝

東海高校総体(茨城県)出場

優勝

東海高校総体(茨城県)出場

優勝